

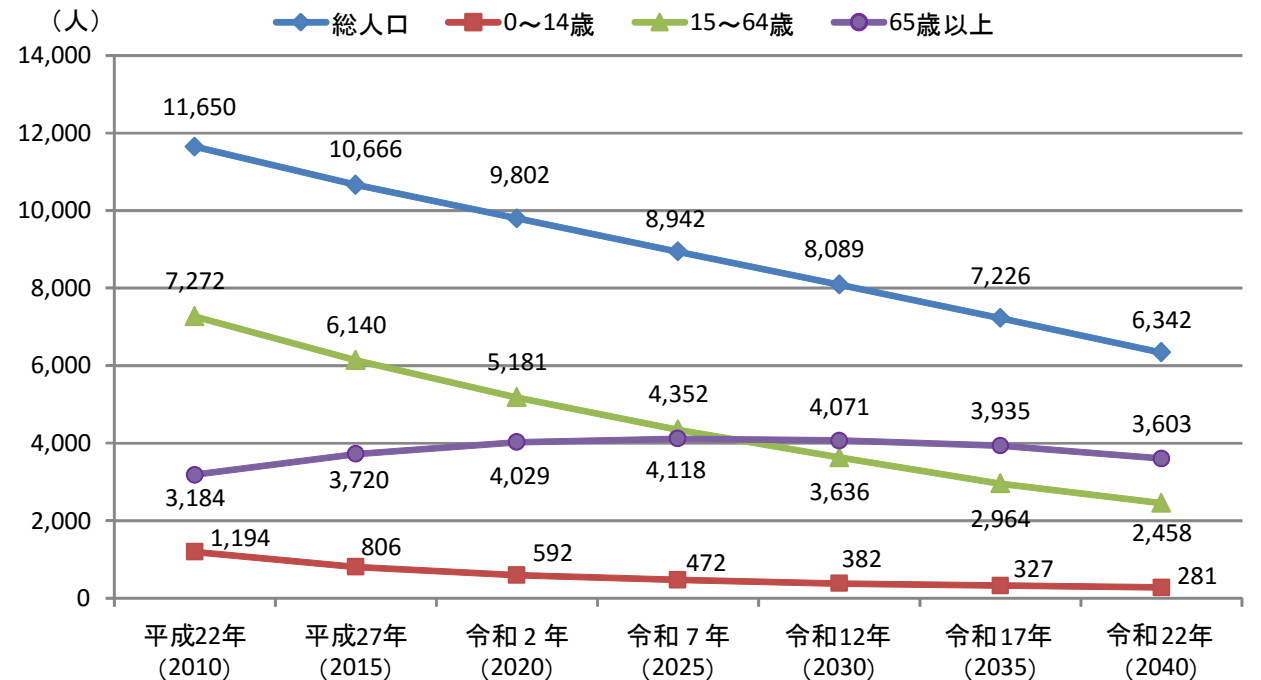


大阪府 豊能郡 能勢町

能勢町の概況

能勢町の紹介

- 栗の代表品種「**銀寄(ぎんよせ)**」の原産地として有名。
 - 人口 9,503人 (令和3年11月末 現在)
 - 高齢化率 42.1% (令和3年11月末 現在) 全国 29.1%
- 人口推計 (平成27年度発行 能勢町人口ビジョンより)



大阪府の**最北端**にあり近畿地方のほぼ中心に位置している。

総土地面積 98.75km²
 林野面積 77.4km² (78%)
 耕地面積 10.2km² (10%)

能勢町の自然



長谷の棚田

「長谷の棚田」は、1999年に「日本の棚田100選」に選定された。棚田は江戸時代から築かれている。



希少な生きものが生息する「三草山」

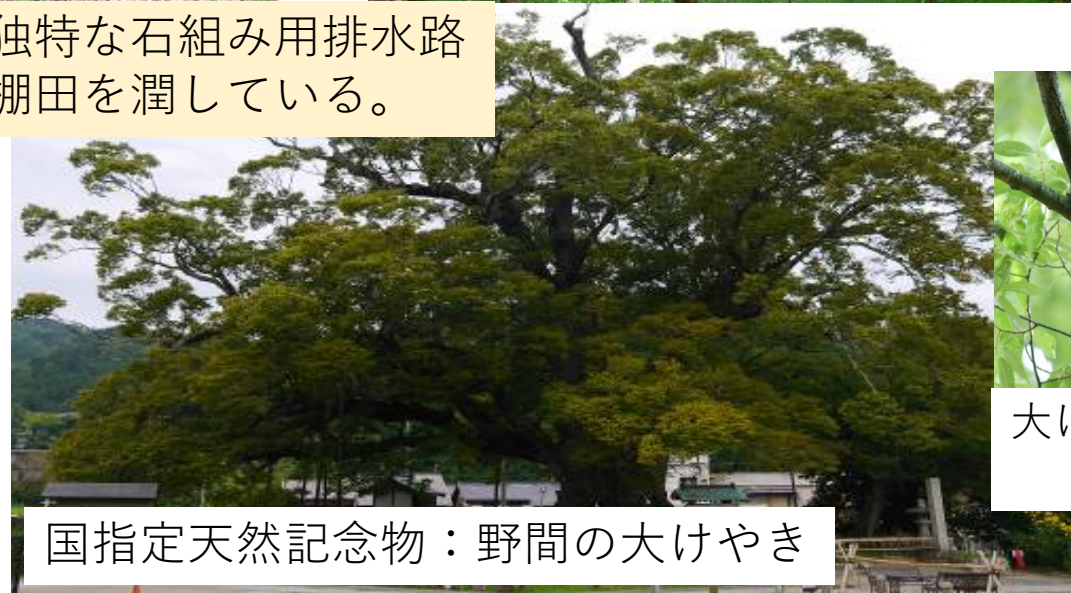
「ガマ」と呼ばれる独特な石組み用排水路を流れる水が、今も棚田を潤している。



地黄湿地



トキソウ



国指定天然記念物：野間の大けやき



大けやきに営巣する
アオバズク

能勢町の文化



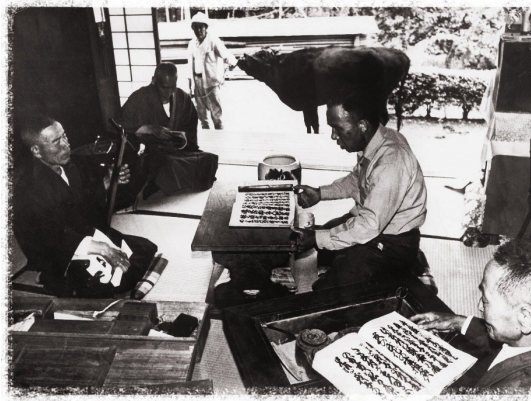
浄るリシアター



200年の歴史：能勢の浄瑠璃



能勢町で生産される菊炭
(茶の湯に最高の炭と言われる。)



菊炭の原材料になる台場クヌギ

民間シンクタンク生物多様性ランキング全国1位

2016年に公表された
「**全国の優れた生物多様性自治体
ランキング**」で**1位**

として評価される等、国内でトップクラスの生態系の豊かさを備えている自治体です。

この能勢町の豊かな生物多様性は、栗栽培やほだ木づくりをはじめとする「里山」を活用した産業を通じて、草地や里山林などの多様な生きものの生息環境が維持されることで培われてきました。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社・都市の生物多様性指標研究会（2016）

「生物多様性に優れた自治体ランキング（生態系の豊かさと便益を評価する指標群）」



町の花：ささゆり



ウラナミアカシジミ



ヒロオビミドリシジミ



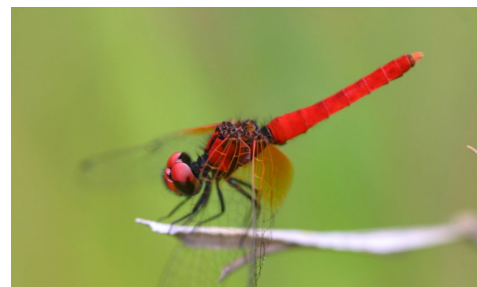
ニオイタチツボスミレ



オオサンショウウオ



サシバ



ハッチョウトンボ



ノセヒシバツタ



モウセンゴケ

街と里との交流・森里川海のつながりを発信

大都市近郊での街と里のつながりを考える
フォーラムinすいた
～経済性を伴った持続的な連携・交流で里山の価値を高めるために～

参加費
無料
申込不要

定員
400名

2018年8月26日(日) 14:00～17:00
(開場: 13時～ 13時からポスター展示等を行います。)

会場: 関西大学ソシオAV大ホール



未来へ引き継ごう！
能勢の栗とクリ林を考えるフォーラム
～農業遺産への関心喚起、みんなで作ろう、その先の未来へ～



日時 2018年5月10日(木) 13:30～16:15

会場 能勢淳りんシアター小ホール

※当日は、シアター内で、里山保全や生物多様性に関する活動に取組む団体等のパネル展示を行います。

講演テーマ 世界農業遺産の意義とその活用
永田 明彦 農学博士(農学) 農学博士(農学) 農学博士(農学)

講演題目 世界農業遺産認定地からの報告

「静岡養蚕場農法」の世界農業遺産の概要
二村 浩幸 農学博士(農学) 農学博士(農学) 農学博士(農学)

司会 金子 真由子

コメンテーター 長久保 大輔氏(大阪府立自然史博物館館長代理)
パネリスト 永田 明彦氏(農学博士(農学) 農学博士(農学) 農学博士(農学))
二村 浩幸氏(農学博士(農学) 農学博士(農学) 農学博士(農学))
金子 真由子氏(農学博士(農学) 農学博士(農学) 農学博士(農学))



『未来へ引き継ごう！
能勢の栗とクリ林を考えるフォーラム』
開催報告書「1」(2018年8月26日)
メニュー: 01-02-03-04-05-06-07-08-09-10-11-12-13-14-15-16-17-18-19-20-21-22-23-24-25-26-27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40-41-42-43-44-45-46-47-48-49-50-51-52-53-54-55-56-57-58-59-60-61-62-63-64-65-66-67-68-69-70-71-72-73-74-75-76-77-78-79-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100



収穫体験 & 自然観察会の様子



のせ栗まつりの様子



フォーラム開催の様子



戦略の目標：未来に伝えたい能勢の里山像（概ね10年後の実現を目指す）

目標1『グリーンレジリエンスを活かした災害に強いまち』

目標2『都市近郊にあって生物多様性の高いまち』

目標3『活力ある農林業のまち』

目標4『里山資源の魅力を発信するまち』

施策1 グリーンレジリエンスの向上(災害に強いまちづくり)

町民誰もが里山資源の使い方を理解し、災害時には里山資源を用いてライフライン等の被害に強い体制づくりを行う。



施策2 里山資源を支える生物多様性の保全

「のせの生きものマップ」により、生物の多様性の普及活動の実施



施策3 農林業の活性化

里山に活力を取り戻すため、クリ林の活性化と遊休地の有効活用等



施策4 里山資源の魅力発信

グリーンツーリズムの振興



施策1 グリーンレジリエンスの向上(災害に強いまちづくり)

薪ストーブの導入や「木の駅」と連動した薪備蓄の推進等



能勢材で作られた薪



近隣都市部から多く買いに来られる



薪ストーブ



井戸



地域再生エネルギーを活用した新電力会社の設立

施策3 農林業の活性化（活力ある里山形成）

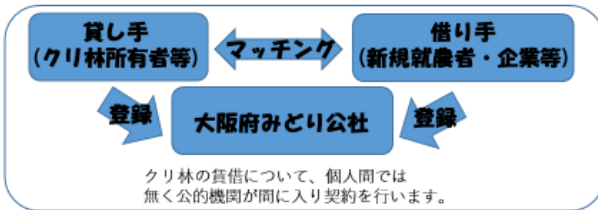
あなたのクリ林貸しませんか？

銀寄バンク制度

本町の特産品である「能勢ぐり・銀寄」は需要が高く、クリ林の管理をしたい新規就農者や都市部企業から多くのお問合せがあります。

一方で、生産者の高齢化や後継者不足、鳥獣被害の増加等により、耕作放棄されるクリ林が増加しつつあります。

そこで公的機関が間に入り、貸し手と借り手のマッチングを行うクリ林バンク制度を設置します。



◆クリ林バンクを利用するメリット

- ・ 公的機関が間に入るので、貸し手も借り手も安心！
- ・ 貸し手や借り手が複数いても交渉等はマッチングを行う大阪府みどり公社とすればOK！
- ・ 契約期間が終了すれば自動的に契約解除となるので、安心！
※貸し手・借り手が望めば更新も可能。
- ・ 自分で貸し手・借り手を探さなくてもクリ林バンクに一度登録すれば相手が出てくればマッチングを行います！

【主催・お問い合わせ先】
能勢町環境創造部地域振興課産業振興担当
能勢町宿野28 TEL:072-734-3976
メール: sinko@town.nose.osaka.jp



クリ栽培講習会の様子



クリ園再生の様子



銀寄母樹園での活動の様子

荒廃栗園の再生・担い手の育成を目指す

SDGsの視点から、多面的な解決策を考える

里山資源の魅力を活かすまち

- 里山の重要性が広く認知され、近隣都市の住民が、生きものとの触れ合いやグリーンツーリズムの場として来訪
- 植林を含む里山林が適切かつ健全に維持管理

移動の自由を楽しむまち

- 電動補助自転車やシニアカーを活用しつつ、自然環境豊かなエリアで移動を楽しみながら健康増進につなげる取り組みも広く浸透
- 交通手段が多様化しており、地域外からの町内へのアクセスが容易

ひとつつながり、協力し合うまち ～里と都市のボーダレス化～

地域の経済循環の創出やゼロカーボントウンに向けた道を示す。
こうした取組を若者や圏域自治体等と共に推進し、先進的でかつ実践的な人材育成の場として、人々のつながりが多様に増している。

エネルギー・資金・経済・情報が循環するまち

- 地域エネルギー会社を核としつつ、地域内でエネルギー・資金・経済・情報が循環
- エネルギーを無駄なく使うエネルギーマネジメントが浸透

ひとひとがいいきと暮らす健康長寿のまち

- 人生100年時代にふさわしい、健康寿命が延伸した活力ある生涯活躍社会が実現

エネルギーを自律的に管理するゼロカーボントウン

- エネルギー利用の脱炭素化が大幅に進展
- 再エネ開発の適切なゾーニングが行われており美しい里山の景観と再エネ開発が両立
- 森林吸収源は他地域からの貴重な収入源に。収入確保により、林業経営の事業性が高まっている

グリーンレジリエンスを活かした災害に強いまち

- 住民の誰もが里山資源の使いかたを理解し、災害時には里山資源を用いて、ライフライン等の被害からいち早く回復できる体制
- 都市部での災害時に、里山資源を用いて都市住民の生活のバックアップを担えるような体制